

# アフリカ社会・文化論a

アフリカ社会や文化について、現地からの最新報告を交えての講義です。

日本人やヨーロッパ人がいかに「自分の文化」という色眼鏡で世界を見てきたか、その偏見やおごりを教えてくれるアフリカのパワフルな元気とそこに暮らす人々が現在置かれている苦境についても学び、私たちにできることは何かを考えていきましょう。

10月8日(火)～平成26年1月21日(火) 14:30～16:00



会場：山口県立大学3号館 C12教室

※11月9日(土)のゴスペルワークショップは18:00～20:00

山口県立大学4号館 D14教室にて開催

講師：国際文化学部教授 安溪 遊地 (あんけい ゆうじ)

※ 部分受講も可能です (開催期間中は、随時受付いたします)。

※ 13回以上受講された方には、山口県立大学公開授業受講修了証書を授与いたします。

## ◎ 講義内容 (詳細は裏面に) ◎

- ・アフリカと出会う (1) (2) (3)
- ・アフリカとかかわる (1) (2) (3) (4)
- ・アフリカ社会史 (1) (2)
- ・アフリカのいま (1) (2)
- ・私のアフリカ地域研究 (1) (2) (3)
- ・あなたの暮らしが今問われている



◆受講料：1回 500円、10回以上 5,000円

◆お申し込み・問い合わせ：電話、FAXまたはハガキで、山口県立大学附属地域共生センター生涯学習部門 まで

電話/FAX 083-928-3495

〒753-8502 山口市桜畠3-2-1



## ◆講義内容

回	日時	テーマ	内容
1	10/8 (火)	<b>アフリカと出会う①</b> 伝統文化の豊かさ・ 社会のしなやかさととの出会いの衝撃	1978年、コンゴ民主共和国（ザイール）で、私はアフリカの熱帯雨林のなかにある村で暮らし、滞在1カ月で村長の養子になって、森の暮らしの豊かさを知った。
2	10/15 (火)	<b>アフリカと出会う②</b> 自然と文化の多様性のモザイク	アフリカ大陸の大きさと、米国と中国とインドをあわせた面積はどちらが大きいだろう。ひとくくりにはできないアフリカ大陸の全体像に迫る。
3	10/22 (火)	<b>アフリカと出会う③</b> ケニアのスラムに学校を作る ～スラム住民の取り組み	【早川千晶さんを迎えて】東アフリカ最大のスラム・キベラ地区。そこで生きる子どもたちのための学校を共同で運営する早川千晶さんを特別講師に招きます。
4	10/29 (火)	<b>アフリカとかかわる①</b> なぜアフリカに学ぶのか・ フィールドワークの心得	2013年夏、12年ぶりにガボン共和国を訪ねた。世界から集まった講師や学生たちとともに「人と自然の関係」を学ぶ民族生物学の講座で話したこと、考えたこと。
5	11/5 (火)	<b>アフリカとかかわる②</b> 女性の暮らしの知恵	大きな森の中、100人ほどの村で、お金を出して買う物は塩だけだとすると、いったい何種類の料理ができるだろう。安溪貴子さんのフィールドワークの成果に学ぶ。
6	11/9 (土)	<b>アフリカとかかわる③</b> 木島タローゴスペルワークショップ	ホンモノのゴスペルと一緒に歌う感動のセッションとともに味わう。詳細は、 <a href="http://tarokijima.com/">http://tarokijima.com/</a> を。
7	11/12 (火)	<b>アフリカとかかわる④</b> あなたの携帯電話にはコンゴ人の 流す血が入っている	アフリカは遠いと思っていたあなたは、自分の暮らしにアフリカの資源が不可欠なことに驚くだろう。アパルトヘイトの中で日本人だけが「名誉白人」とされた訳は？
8	11/19 (火)	<b>アフリカ社会史①</b> 栄光の古代史と諸王国	古代からの文明の興亡。エジプト文明には強大な権力を誇る黒人王朝があった。ジンバブウェの古代遺跡など、高度の文明を支えた人々の歩みをたどる。
9	11/26 (火)	<b>アフリカ社会史②</b> 奴隷貿易と植民地化	「暗黒大陸」というフィクションはいかに生まれたか。背景として奴隷貿易と引き続く植民地化の歴史。さらに、そのフィクションを直輸入した日本について。
10	12/3 (火)	<b>アフリカのいま①</b> 植民地からの独立と新植民主義	1960年は、アフリカ独立の年と言われるほど多くの国が独立を達成した。しかし、直後からの大国の介入によってコンゴ動乱のような悲劇もおこった。そしていま。
11	12/10 (火)	<b>アフリカのいま②</b> アフリカの独裁と内戦	34年間、独裁と人権抑圧を行ったコンゴ・ザイールのモブツ大統領。ルワンダ大虐殺（1994年）後、今も続くコンゴ東部の内戦で、既に500万人が命を落とした。
12	12/17 (火)	<b>私のアフリカ地域研究①</b> お金の通用しない 物々交換の市場の秘密	お金は、いつでもどこでも通用するものと思っていたら、ある日紙切れに。そしてお金に頼らない物々交換の市場の重要性が明らかになった。安溪遊地の博士論文。
13	平成26年 1/7 (火)	<b>私のアフリカ地域研究②</b> 生物と文化の多様性を守る人々とともに	聖なる森を守るために、若者と長老たちが合意した秘密の計画とは。コンゴ人と共に行ったケニア東海岸でのフィールドワークと屋久島を守る人との交流について。
14	1/14 (火)	<b>私のアフリカ地域研究③</b> バンドゥー語の神話を学ぶ	スワヒリ語の仲間のバンドゥー諸語との格闘。これまで誰も調べていない、話者5万人程度のソングーラ語の辞書づくりと、昔話・神話の研究について。
15	1/21 (火)	<b>まとめ</b> あなたの暮らしが今問われている	アフリカ人を奴隷とし植民地化し、これからも資源争奪の戦場とみなす人々が、世界を支配しようとする今、一人の人として何ができるか、問い続けなければならない。

◆ 受講申込書 後期公開授業「アフリカ社会・文化論a」を受講します。

お名前（ふりがな）	
ご住所	〒
電話・FAX	